

平成 20 年 2 月 14 日

2 月定例所長会見における高橋所長挨拶内容

所長の高橋でございます。本日、私からは 3 点申し上げます。

まずは、「地震以降継続している設備の点検・調査」についてです。

炉内点検につきましては、これまでに 3 号機を除く 6 プラントの点検が完了しており、残る 3 号機につきましても、来週の 2 月 19 日に点検を終える予定です。これにより、昨年 8 月末から開始した炉内点検がひととおり完了することとなります。

また、当社は、経済産業省原子力安全・保安院より受領した指示文書に基づき、各設備の健全性に係る点検・評価計画書を、準備が整ったプラントから順次提出しております。7 号機については昨年 11 月 27 日に、1 号機については先週の 2 月 6 日に同計画書を提出しておりますが、今後、同計画書に基づき、各設備の点検・評価を実施してまいります。また、2～6 号機についても、今後、同様に点検・評価計画書を取りまとめまいります。当社は、この点検・評価計画書に基づき、目視点検や機器の動作確認を行うとともに、解析や必要に応じて追加点検を行うことにより、総合的に健全性評価を実施してまいります。なお、解析評価につきましては、1 号機および 7 号機の主要な設備に関する暫定評価を実施しており、いずれも解析結果が許容範囲に収まっていることを報告させていただきました。今後、その他のプラントにつきましても、順次、解析評価を実施してまいります。

当発電所といたしましては、これら一連の調査・点検において、決して予断を持たず、しっかりと設備の健全性を確認してまいり所存です。

2 点目は、「発電所の地質・地盤調査」についてです。

今後の耐震安全性評価のための地質調査のうち、海上音波探査の最終的な結果評価につきましては、先月申し上げましたとおり、3 月末となる見込みです。また、周辺陸域および発電所構内の地質調査につきましては、現在、地下探査等の調査やデータの解析・評価を鋭意進めております。

また、地盤安定性を再確認するため、発電所敷地内や敷地近傍の断層調査についても並行して進めております。これらの断層は、発電所を建設する際の調査で活断層ではないと評価しておりますが、念のため、今回の新潟県中越沖地震によって動いているかどうかを確認するための調査を行っており、先日皆さまに公開させていただきました。断層につきましては、調査がほぼ終了し、動いていないことを確認いたしました。現在、5～7 号機側の F 3 断層についても調査を進めており、年度内には公開の準備が整う予定です。

3 点目は、「地震によって得られた課題・教訓への対応」についてです。

現在、当発電所では、昨年末に取りまとめた「自衛消防体制や情報連絡・提供の強化策に関する当面の取り組み方針」に基づき、地震の教訓と反省を踏まえた一つひとつの課題について整備・改善を進めています。

既に、水槽付ポンプ消防車の配備、免震重要棟を建設するための地質調査、発電所敷地内における防火水槽（17基）の新設工事等に着手しておりますが、こうした整備の進捗状況についても、準備が整い次第、随時公開させていただく予定です。

今後もこうした整備・改善を着実にいき、地域の皆さまからご安心、ご信頼いただける「災害に強い発電所」を目指してまいります。

最後になりますが、既にご案内申し上げているとおり、来週の21～22日の2日間、柏崎市と刈羽村において地域説明会を開催いたします。昨年10月に地震後初めての地域説明会を開催して以降、約4ヶ月が経過しておりますが、その後の点検・調査の状況、消防・情報連絡の強化、地質調査の進捗状況等について、地域の皆さまにご説明するとともに、ご意見をおきかせいただく予定です。今後も、毎年度春先に実施している定期説明会も含め、折に触れて、こうした説明会を開催するとともに、地域の皆さまを対象とした発電所のご視察についても、積極的にご案内していきたいと考えております。

以 上

添付)

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX
- ・ プレス公表（運転保守状況）

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成20年2月)

平成20年2月14日

発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況														補足説明
			3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2			
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第15回定期検査中 定検停止期間:H19.5.4~	第14回 H17.6.14 ~ H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第15回定検による停止														【4号機】 ・平成20年2月11日から第10回定期検査開始(お知らせ済み)
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3 ~ H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定検による停止														
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12 ~ H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定検による停止														
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	第10回定期検査中 定検停止期間:H20.2.11~	第9回 H18.4.9 ~ H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第10回定検による停止														
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 定検停止期間:H18.11.24~	第11回 H17.7.4 ~ H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定検による停止														
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第8回定期検査中 定検停止期間:H19.5.24~	第7回 H17.12.10 ~ H18.5.12 停止期間 H17.12.10 ~ H18.4.13 (125日) (原子炉起動H18.4.10)	第8回定検による停止														
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第8回定期検査中 定検停止期間:H19.11.15~	第7回 H18.8.23 ~ H19.1.11 停止期間 H18.8.23 ~ H18.12.5 (105日) (原子炉起動H18.12.2)	第8回定検による停止														

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

発電所設備利用率(%) (1月末現在)

1月	0.0%
19年度累計	19.3%
運転開始後累計	74.0%

発電所発電電力量(万kWh) (1月末現在)

1月	0
19年度累計	1,164,943
運転開始後累計	80,191,836

ドラム缶発生量(本) (H19年度第3四半期)

当期発生本数	0
貯蔵庫累積貯蔵本数	22,391
貯蔵庫保管容量	30,000

使用済燃料貯蔵体数(体) (H19年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,372
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

構内従業員データ(人) (2月1日現在)

	東京電力		協力企業		比率
	人数	比率	人数	比率	
県内	柏崎市	796	2,379	57%	
	刈羽村	80	229	6%	
	その他	77	754	15%	
	小計	953	3,362	77%	
県外	124	1,139	23%		
合計	1,077	4,501	-		
		5,578	100%		
協力企業社数(社)		522			

「比率」について端数処理の関係で数値と計が含まない場合がある。

来客情報(人) (1月末現在)

	1月	年度累計
地元	1,013	9,011
県内	519	10,108
県外	913	16,688
国外	37	355
合計	2,482	36,162

今後の主なスケジュール

予定日	内容
2月21・22日	新潟県中越沖地震にともなう発電所の状況についての説明会 〔刈羽会場〕2月21日:ラピカ 第1・第2学習室 〔柏崎会場〕2月22日:柏崎エネルギーホール
3月13日	次回定例所長会見予定
3月13日	ピラティス教室(柏崎エネルギーホール)
3月20・21日	第127回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)
3月22日	雪割草祭り(き・な・せ)

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

平成20年2月14日
定例所長会見資料

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	1月15日	2号機	使用済燃料プールにおける燃料集合体内部での金属らしきものの発見について（区分Ⅲ）	<ul style="list-style-type: none"> ・定期検査中の2号機において、使用済燃料プール内で新潟県中越沖地震後の燃料点検を実施していたところ、1月14日および15日の点検の際に1体の燃料集合体内部（スペーサ部）に金属らしきもの5本（最大長さ：約10mm、太さ：約0.2mm）を発見した。 ・当該金属らしきものは、以前の工事の際に混入したワイヤブラシ類の素線と推定しているが、ワイヤブラシ類は平成11年9月以降は使用を制限していることから、系統に混入し残留していたものが、今回燃料の中で発見されたものと推定している。なお、当該燃料集合体は再使用しないこととした。
②	1月17日	7号機	タービン建屋における油漏れについて（区分Ⅲ）	<ul style="list-style-type: none"> ・定期検査中の1月16日、タービン建屋1階の発電機下部（非管理区域）において、床面に油だまり2箇所（合計約1リットル）があることを作業中の当社社員が発見した。 ・現場を確認したところ、タービン建屋2階（管理区域）で発電機軸受潤滑油ストレーナ内にあった残油を抜くためにドレン弁を開けており、残油が発電機分解点検のためドレン配管取り外し部分に取り付けていた養生用ビニール袋から溢れ、相分離母線収納箱と発電機下部床（鉄板）の継目シール部から、タービン建屋1階の発電機下部に滴下したものと推定している。 ・ドレン弁を閉め当該箇所の養生等の見直しにより、漏えいは停止。床面等に溢れた油については、拭き取りを実施した。漏れた油は放射性物質を含んでいない。
③	1月29日	2号機	2号機・3号機間の地下連絡通路内（管理区域）における水漏れについて（区分Ⅲ）	<ul style="list-style-type: none"> ・定期検査中の2号機では、1月6日に圧力抑制室プール水排水系配管の微小な孔から微量な水の滴下を確認したことから、受け皿を設置し監視を強化していた。 ・1月28日、当該配管の現場調査をしていた協力企業作業員が、原子炉建屋地下1階の2号機・3号機間の地下連絡通路内（管理区域）において、貫通孔から水漏れがあることを発見した。 ・水は地下連絡通路内にとどまっており、同日中に仮設プールへ回収するとともに、漏えい箇所を仮補修することにより水漏れは停止した。回収した水の量は約500リットルで、放射能は検出されていない。なお、当該配管については、水抜きを完了している。 ・今後、原因を調査し、配管の取り替えを実施する予定。
④	2月6日	7号機	使用済燃料プールにおける燃料集合体内部での金属らしきものの発見について（区分Ⅲ）	<ul style="list-style-type: none"> ・定期検査中の7号機において、使用済燃料プール内で新潟県中越沖地震後の燃料点検を実施していたところ、2月6日の点検の際に1体の燃料集合体内部（スペーサ部）に金属らしきもの1本（形状：らせん状、長さ：約40mm、太さ：約0.2mm）を発見した。 ・当該金属らしきものは、以前の工事の際に混入したワイヤブラシ類の素線と推定しているが、ワイヤブラシ類は平成11年9月以降は使用を制限していることから、系統に混入し残留していたものが、今回燃料の中で発見されたものと推定している。なお、当該燃料集合体は再使用しないこととした。